



トウモロコシのひげは、何のためにあるの

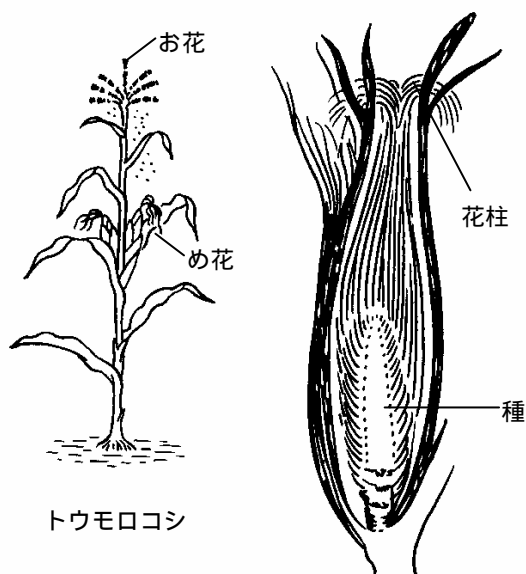
ひげは、トウモロコシの実から出ている

皮をむいていないトウモロコシは、頭の先に、茶色のひげのようなものが出ていますね。1本ずつのひげの根もとをたどってみると、トウモロコシの種の一つぶ一つぶから出ているのがわかります。トウモロコシの種は、トウモロコシのめしべに、おしべの花粉がついてできたものです。トウモロコシの花粉は、イネなどと同じように、風で運ばれて、めしべにたどりつきます。このように、虫に花粉を運んでもらわない植物の花は、色も形も目立たない、地味なものが多いものです。畑で、トウモロコシのくきのとっぺんを見ると、はたきの先のようなほが見えます。じつは、これが、トウモロコシのお花なのです。

ひげは、トウモロコシのめしべの花柱

トウモロコシは、春に種をまき、夏、くきの先に、ほのようなものが出てきます。同じころ、くきから出た葉のわきに、黄緑色のひげのようなものが見られるようになります。

この葉のわきにあるのはめ花で、ひげのようなものは、めしべの長くのびた花柱とよばれるものです。これで、花粉を受け取り、やがて、花柱の根もとに種ができ、おいしいトウモロコシの実(種)になるわけです。トウモロコシのひげは、種ができるときに役立ったのです。(監修・矢野 亮)



トウモロコシ

